

とっとり観光ニュース 2013年12月号

1. 手足・肩・腰のご利益は河野神社で

智頭町にある河野(こうの)神社は、手足、肩、腰の悩みに霊験があるとされ、県内外からの参拝者が絶えません。この神社では手や足を型どった木製の形代(かたしろ)を奉納する習わしがあります。美作国(現岡山県北部)から京都まで三歩で歩いたとも伝えられる伝説の巨人、菅原三穂太郎という人物がおり、太郎の死後、体の頭部と胴体は岡山県奈義町へ、手足、肩は河野神社へ奉られた事に由来されます。この神社で有名なのは「おかげ参り」。奉納されている木の手形を持ち帰り、患部をなでつけて快癒祈願し、祈念後は、改めて自分の手形足形を作り、お礼奉納をします。現在、地元の杉で作られた手形足形が携帯ストラップ型となり、お土産として販売されています。



河野神社

■問合せ先／智頭町観光協会 電話 0858-76-1111

ホームページ <http://www1.town.chizu.tottori.jp/kankou/>

2. 若桜氷ノ山(わかさひょうのせん)雪合戦 優勝すると北海道へ！！

毎年2月に西日本雪合戦大会が行われ、県内外から多くの参加者が熱い戦いを繰り広げます。一般の部の優勝者は、北海道で開催される国際雪合戦大会への切符を手に入れることができます。雪合戦の勝敗は、相手のフラッグを取るか、敵チームに多く雪玉を当てるかで決まります。また強いチームだけの戦いだけでなく、コスチューム賞やフラッグ賞などいろいろな賞があり、楽しんで戦うチーム合戦でもあります。新たなスポーツにチャレンジしてみたい方はいかがでしょう。



若桜氷ノ山雪合戦

第19回西日本雪合戦大会～若桜氷ノ山雪合戦～

■開催日・場所／2014年2月1日(土)～2月2日(日) 若桜町ふれあい広場(旧若桜中学校グラウンド)

■部門／一般の部、レディースの部、ジュニアの部 ※募集チーム数に達した時点で締め切り

■参加料／一般の部 Aリーグ 2万円・Eリーグ 1万5000円、レディースの部 1万円、ジュニアの部 5000円

■問合せ先／若桜町教育委員会事務局内西日本雪合戦大会事務局 電話 0858-82-2213

3. 冬の森林で、セラピーやスノーシューを楽しむ

雪を楽しむのはスキーやスノーボードのウィンタースポーツだけでなく、雪景色を眺めたり、木々を観察したり、動物の足跡を追いかけたり、のんびり、ゆったり雪と自然を満喫できる体験があります。

巨大ブナに出会えるスノーシュー

冬のアウトドア初心者の方は、まずスノーシューの魅力を体験してみたい方が多いと思います。基本の1日体験ビギナーコースや、半日体験のハーフデーコースなどがあります。ハーフデーコースは、体力的に1日は少し大変と思われる方や、午後しか時間が空いていない方におすすめのお手軽プランです。また、ダウンヒルスノーシュー

は、上りはリフトを利用しながら林間を歩くプレミアムツアーとなっており、樹齢500年の胴回り5メートルの大山ーの巨木ブナに出会えます。愛犬といっしょに旅行をされる方は、愛犬と行くスノーシュートレッキングで雪上ピクニックを楽しんでみてはいかがでしょうか。

■問合せ先／森の国(西伯郡大山町赤松 634) 電話 0859-53-8036
ホームページ <http://www.japro.com/morinokuni/>



森の国 スノーシュー

智頭で冬の森林セラピー

雪が積もり、一面雪景色になると、普段は歩く事のできない山道をスノーシューで散策することが出来ます。この季節しかみられない植物を観察したり、シカやイノシシ、ウサギなどの足跡も発見でき、自然の魅力を身近に感じられます。まるで童話の世界に来たようなこの感覚を体感しませんか。

■問合せ先／智頭町観光協会 電話 0858-76-1111



智頭 スノーシュー

冬の森で大人の遠足

冬季ならではの雪遊び体験は、スノーシューハイクやスキートレッキング、大人の遠足など楽しみ方は沢山あります。スノーシューハイクは雪の中を走っており「下り」がおもしろく、また、シートを敷いて滑るとスピード感が増したりと、童心に帰ったように楽しさも倍増します。雪上フィールドゲームなどで、子どもや大人も雪まみれの体験をしませんか。



響の森 スノーシュー

- ①「雪と遊ぼう」かまくらづくりやそり遊び、雪上でのフィールドゲームなど。
- ②「スノーシューハイク」スノーシューをはいて普段入れない林で自然観察会を行います。
- ③「スキートレッキング」歩くスキーをはいて林道などをトレッキングします。
- ④「スキー&スノーシュー」歩くスキーをはいて移動し、目的地でスノーシューにはき替えて遊びます。※歩くスキー経験者向け。

※上記体験メニューやイベントはすべて予約申込制です。詳しくは HP もしくは電話・メール等でお問い合わせ下さい。

■営業時間／9:00～17:00 定休日／(12月～3月)月～水曜日

■体験時間／1～3時間、もしくは1～5時間

■お問合せ／氷ノ山自然ふれあい館 響の森(八頭郡若桜町つく米 635-175) 電話 0858-82-1620

ホームページ <http://www.hibikinomori.gr.jp/index.html>

※悪天候や雪崩などの危険性があり中止されることもありますので、事前に各催行先へお問合せ下さい。

4. 初日の出、初詣特集

●皆生温泉【初日の出】

白砂青松の美しい海岸が続く弓ヶ浜に沿って、立ち並ぶ山陰屈指の温泉街。伯耆富士と呼ばれる大山の山並みを望む風光明媚な海岸に恵まれています。雄大な大山のシルエットと初日の出が作り出す幻想的な景色を

見る事が出来ます。

■問合せ先／皆生温泉旅館組合 電話 0859-34-2888 ホームページ <http://www.kaike-onsen.com>

●夢みなとタワー【初日の出】

鳥取県のランドマークタワーである夢みなとタワーでは、元旦の早朝は展望室が無料開館となり、天候に恵まれれば大山から昇る初日の出を、360度の大大パノラマで望むことができます。早朝入館者にはオリジナルグッズのプレゼントがあり、通常営業の朝9時から先着で紅白餅をプレゼントします。



■入館料／7:00～9:00 まで無料(見学は展望室のみ)。

9:00～通常営業

■問合せ先／夢みなとタワー(境港市竹内団地 255-3) 電話 0859-47-3800

ホームページ <http://www.yumeminatotower.gr.jp/>

●お城山展望台 河原城【初日の出】

展望台は元旦6時30分から正午まで開放され、標高98メートルの天守閣では、360度の雄大なパノラマから美しい日の出を見ることができます。城内3階には売沼神社分社が設置されており、恋文・願い札を書き結ぶことができます。また、ぜんざいの無料配布(先着)、縁起の良い吉祥・水墨画展も開催されます。

■問合せ先／河原城風土資産研究会(鳥取市河原町谷一木 1011) 電話 0858-85-0046

ホームページ <http://www.kawahara-shiro.com/>

※悪天候や視界不良により初日の出をご覧いただけない場合がございます。

●日吉神社(ひよしじんじゃ)【初詣】

JRのポスターにも掲載されたことのあるこの神社は、境内の参道を山陰本線の線路が貫き、列車が通過していきます。その昔、国鉄の鉄道計画の際、線路は別のところを通るはずでしたが、当時は内務省神社局が管理していた神社の境内に鉄道を通すことになりました。列車が通過する時には、参拝客が踏み切りで待つ不思議な光景に出合えるかもしれません。



■問合せ先／米子市観光協会 電話 0859-37-2311

ホームページ <http://www.yonago-navi.jp/>

●金持神社(かもちじんじゃ)【初詣】

金運・開運祈願の初詣は金持神社へ出かけてみませんか。全国でも一つしかない縁起の良い名前の金持神社には、開運や金運を求めて県内外から多くの初詣参拝客が訪れます。古事記でも最初に登場する天之常立尊(あめのとこたちのかみ)を主祭神とする神社です。

■問合せ先／金持神社札所(売店) 電話 0859-72-0481 ホームページ <http://www.kanemochi-jinja.net/>

●因幡一宮 宇倍神社【初詣】

宇倍神社は、因幡国府庁があった国府町にある因幡国一宮で、大化4年(648)に建てられました。日本で初めて紙幣の図案となった神社で、大正・昭和と、1円・5円紙幣に社殿と武内宿禰命の肖像画が掲載され、お金にご縁があることから、商売繁昌の神様として全国からの参詣が絶えません。

■問合せ先／鳥取市コンベンション協会 電話 0857-26-0756 ホームページ <http://www.torican.jp/>

5. イベント情報

(1) スマホde鳥取ぐるぐる一んらりー

鳥取自動車道が開通し、ぐっと身近になった鳥取県。スマホde鳥取ぐるぐる一んらりーは、県東部の歴史、文化、自然、スイーツのおすすめスポットを巡るコースや、中部の1市4町のグルメやおみやげ観光を満喫できるコース、開湯850年記念を迎える三朝温泉を堪能するコース、とっとり花回廊や砂の美術館などの自然が感じられるコースなどがあります。スマートフォンサイトからアクセスし、県内の観光名所のラリーポイントでスタンプを3つ以上集めると、素敵なプレゼントに応募できます。ゲーム感覚で楽しみながら観光できるスタンプラリーに参加して、プレゼントに応募して下さいね！

■開催期間／2014年2月28日まで

■問合せ先／鳥取県関西本部 電話 06-6341-3955

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/222026.htm>



(2) 木造教室に足踏みオルガン。一緒に唱歌を歌いましょう♪

わらべ館では、毎週土曜日に唱歌教室を開催しています。昭和初期の衣装をまとった先生と一緒に、季節の唱歌を歌ってみませんか。昭和6年頃の木造校舎を再現した教室で、鳥取県出身の作曲家が作った、故郷、桃太郎、きんたろう、大こくさまの唱歌など、先生が弾く足踏みオルガンに合わせて歌います。

また、年末年始に向けてのイベントも充実しており、今年も「おもちゃワールド(冬編)」を開催します。会場内には、ファミリーゲーム・ベビーおもちゃなど沢山の玩具が大集合！ままごと遊びができるコーナーではコックさんの衣装を着て、なりきり体験ができ、沢山の親子連れでにぎわいます。

■場所・営業時間／わらべ館(鳥取市西町3-202) 9:00~17:00(入館は16:30まで)

■休日／第3水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/1)

■料金 500円(高校生以下無料)

■問合せ先／わらべ館 電話 0857-22-7070 ホームページ <http://www.warabe.or.jp>



(3) 森の贅沢ジビエ(猪鹿)フェア

農林産物へ被害をもたらすシカやイノシシなど森のやっかいモノを有効活用しようと、鳥取県東部(いなば)地域では「いなばのジビエ推進協議会」を立ち上げ、様々な取組を行っています。9月4日から始まったジビエ料理のフェアも大好評で、いよいよ1月26日までとなりました。同協議会加盟の14店舗でジビエ料理を食べてスタンプを集めた人に、抽選で賞品プレゼントを行っています。寒い季節に身体が温まる「森の恵み・ジビエ」を堪能してみたいかがでしょうか。

※ジビエ(gibier)：シカ、イノシシ、ウサギなどの狩猟肉のことで、フランス、イタリアなどでは高級なヘルシー料理の食材

■開催期間／2014年1月26日(日)まで

■問合せ先／いなばのジビエ推進協議会事務局

ホームページ <http://www.inabagibier.jp/index.html>



(4) 国指定重要無形民俗文化財「酒津のトンドウ」

鳥取市気高町酒津に伝わる火祭り「酒津のトンドウ」は、一年の無病息災などを願って行われる行事で、130年以上の歴史があります。トンドウは、中心に立てる松とその周りに、1年(12ヶ月)を意味する竹12本で4～5メートルの円錐形を作り、松の先端には扇と鯛を取り付け、しめ縄を巻きつけます。行事の主役は全員が地元の男子小学生で、海水につけた海藻をぐるぐると振り回しながら自らの身を清め、上半身裸の子どもたちは寒さに負けず大きなトンドウの周りを3周し、地区内の家々の玄関先に行って集落を清めて回ります。翌朝、火を入れ大きな松明となって燃え上がるトンドウに、正月に迎えた歳神を送り、豊漁など祈願します。地域で大切に保存されているこの伝統行事をぜひご覧ください。

■開催時期／毎年1月15日に近い土日

■場所／酒津漁港(鳥取市気高町酒津)

■問合せ先／気高町総合支所 教育委員会分室 電話 0857-82-1411

6. ぐるっと山陰バス誘客促進事業〔グリーンウェイバス【冬】ツアー誘致事業〕

グリーンウェイバス事業、まんが王国とっとり関係イベントや関連観光施設への来場者や宿泊者の促進を図るため、鳥取県外からのバスツアーを積極的に誘致することを目的として、旅行商品造成支援(補助金)を行っています。

●補助期間(旅行日基準)：平成25年11月23日(土)から平成26年3月20日(木)まで。

※交付申請額が予算総額に達した時点で、補助金募集を終了します。

●補助金の交付申請：補助金の交付を希望する場合は、**旅行実施30日前までかつ下記の条件に見たす申請に限ります。**

●補助の条件、内容：鳥取県以外の地域を出発し、県内宿泊を予定するバスツアーであること。

「募集型企画旅行」又は「受注型企画旅行」であること。

当連盟作成の「鳥取県観光素材集」より1つ以上の素材選択をすること。

1団体の構成が20名(実績ベース)以上であること。

旅行設定ではなく、旅行催行実績による。

※詳細については、下記ホームページ旅行会社様向け情報バナーからご確認下さい。

■問合せ先／(公社)鳥取県観光連盟 電話 0857-39-2111

ホームページ <http://www.tottori-guide.jp/8158.html>

7. コラム とつとりの山の楽しみ方(5)

鳥取には、城郭のあるお城は残されていませんが、鳥取、倉吉、米子市街地のシンボルでもある久松山(264M)、打吹山(204M)、湊山(90M)には往時の栄華を物語る城址が残り、市民の健康づくり、憩いの場としても親しまれています。このうち山登りの対象という意味で久松山、打吹山をご紹介します。

【市街地から登る山～久松山、打吹山】

市街地から登れるといっても、2つの山は標高差こそさほどの差はないものの、健康ウォーキングと山登りの違いがあります。打吹山は、かつて筆者も倉吉での会議の前に革靴で登ったことがあるくらいなので、所要時間的にも体力的にも気軽な健康ウォーキングの対象と言ってよいでしょう。

久松山も愛好者によく登られています。山頂から尾根続きに本陣山や摩尼山に延びるコースも開かれているため、昼休みの健康づくりから、日帰り登山の対象としても幅広いバリエーションが選べるアプローチの良好な山域です。



打吹山の最もポピュラーなコースは、打吹公園から西回りで一周し、博物館裏の陸上競技場を下りてくる所要時間約70分のコースで、公園や長谷寺、加茂神社あるいは白壁土蔵群なども近く、まち歩きも兼ねた楽しみ方もありますね。

久松山は、秀吉の鳥取城攻めでも知られていますが、長く池田藩主の居城として明治4年の廃藩置県まで使用され、市街地からせり上がるような山容の頂には、中世期の城郭遺構である山上の丸があり、市街地を一望、北には砂丘、日本海、西に目をやれば、晴れた日には大山の雄姿を望むことができます。

久松山にはいくつものコースが開かれていますが、よく登られているのは、久松公園から二の丸に上がり、道標に従って正面登山道をゆくコースであり、山頂への最短ルートです。かなりの急こう配ですが、約40分で山頂です。帰路は来た道の往復でもよいですが、本陣山への縦走路から長田神社や栗谷神社、又本陣山から舗装路をゆくりと鳥取東照宮(禰谷神社)を経由する下りルートもあり、体力や時間に応じ選べるので、下調べしてゆくとよいでしょう。摩尼山への縦走も、さほどのアップダウンもないため、事前の準備(雨対策、食料、ゴール地点への車の回送など)さえ整えれば、摩尼寺への立ち寄りなども含め、楽しめますね。日々の健康ウォークからハイキング、本格的な登山まで、思いついたらすぐ行動できるのが市街地登山の何よりの利点でしょうか。

発行：平成25年11月25日

〔とっとり観光ニュースとは…〕

私たちがおすすめする最新の鳥取県内のイベントや観光情報をご案内しています。掲載内容につきましては、マスコミ、旅行会社の皆さまをはじめ、多くの方にご活用いただけるように定期的にお届けします。複製・転載可です。(一部画像、文章を除く。) ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

〔編集・発行・問合せ〕公益社団法人 鳥取県観光連盟

電話 0857-39-2111 FAX 0857-39-2100 E-mail kanren@tottori-guide.jp

鳥取県の観光情報はこちら → とっとり旅の生情報 <http://www.tottori-guide.jp/>